

また、必要な道路整備については、いろんな議員の方からも応援もありまして、そういう部分で、担当局長のほうにもやっぱり複数回、面会をさせていただきまして、糸魚川市としての要望についてはお伝えしているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関原議員。

○5番（関原奈津美君）

先日も、市内で独り暮らししている高齢者から、この冬を機会に医療資源の整っている金沢市内の高齢者住宅へ移住するという残念なお話を聞きました。糸魚川市における人口減少の原因が、若者ばかりではないということをお伝えしたいと思います。新潟県が進める地域医療構想の進捗に合わせた国・県との信頼関係の構築と、糸魚川市の緊急医療体制の維持と向上を願ひまして、質問を終わります。

○議長（古畑浩一君）

以上で関原議員の一般質問が終わりました。

関連質問は、ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

関連質問なしと認めます。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。〔4番 渡辺栄一君登壇〕

○4番（渡辺栄一君）

渡辺栄一でございます。

市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し、活動することで、当市の翠の交流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。よろしくお願いいたします。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、今夏の異常な高温現象に伴う対策について。

今夏の渇水で、市内の第一次産業にどのような被害が出ているか。また、その対策を併せて伺います。

(1) 全国的に渇水が問題となったが、稲作に関する市内の状況はどうか。

(2) 市は、渇水に対するかんがい用資機材の購入、借上げの補助策を行っているが、その利用度はどの程度か。

(3) 養鶏や牧畜などの事業者の被害状況はどのようなものであるか。

(4) 国や県と連携して、必要な被害救済策を行うことが求められるが、市はどのような施策を考えているか。

(5) 今後、中山間地における、ため池等の整備が必要と思われるが、いかがか。

2、（仮称）駅北子育て支援複合施設整備計画について。

（仮称）駅北子育て支援複合施設整備計画について、当市が大町地区に所有する既存施設「旧東北電力ビル」と「旧宮田ビル」2棟の解体工事の入札が、通算6度不調になったことの今後について伺います。

(1) 「旧宮田ビル」まで解体の範囲を広げた入札を試みたが、不調に終わった。この原因は金額が合わなかったのか。あるいは応札事業者が出なかったことによるものなのか。

(2) 予定価格の積算根拠は、適正と考えられるか。

(3) 今後、入札事業者の範囲を広げる考えはあるか。

(4) 今年の12月を目途にしている国への利活用案の変更は間に合うのか。

(5) 補助金を当てにせず、一般財源で解体を行えば、資材高騰がひと段落するまで、静観することもできるが、そのような考えはないか。

(6) 整備事業者（4者）との協議・清算等は、どのようになっているか。

3、当市の諸課題について。

(1) 登山道の整備等はどのように行われているのか伺います。

(2) 市内におけるアンダーパスの箇所、冠水対策などはどのようになされているのか伺います。

以上で1回目の質問を終わります。

○議長（古畑浩一君）

暫時休憩いたします。

〈午後1時33分 休憩〉

〈午後1時33分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、8月20日時点で、水稻の被害状況は、5ヘクタールと把握しております。

2点目につきましては、8月末時点で4件の申請を受理しております。

3点目につきましては、生産者からは、大きな被害はないとお聞きしております。

4点目につきましては、今後の状況に応じて、必要な支援を検討してまいります。

5点目につきましては、農業者の意向に応じ、整備を検討してまいります。

2番目の1点目につきましては、今後の入札に影響があることから、答弁は差し控えさせていた

だきたいと思います。

2点目につきましては、複数の市内事業者からの参考見積りを基に積算しており、適正と考えております。

3点目につきましては、昨年度の途中から市内事業者に限らず、全国に事業者の範囲を広げております。

4点目につきましては、間に合うように努めてまいります。

5点目につきましては、解体費の全てを一般財源で支出する場合には、その費用負担だけでなく、補助金や起債などで運用している他の事業への影響も想定されますことから、難しいと考えております。

6点目につきましては、ご理解をいただき、解約協議に応じていただいております、協議がまとまりましたら議会に報告し、解約金等の費用負担についてご審議いただく予定としております。

3番目の1点目につきましては、地域や有志で組織されている愛好家団体の皆様から、整備を行っていただいております。

2点目につきましては、26か所あり、注意喚起の標示、排水ポンプ設備や冠水センサーを設置するなど、状況に応じた対策を講じております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度の質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もございますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

それでは、2回目の質問に入ります。

5日の利根川議員とかぶるような内容の質問もありますが、事前の打合せは行ってはおりません。なるべく重複しないようにしたいと思っておりますので、お願いいたします。

それでは、順番は、1番目からとしたいと思います。

今夏の異常な高温現象に伴う対策についてであります。

先ほど市長答弁では、5ヘクタールというような答弁であったかと思っておりますけれども、どこの地域が被害が大きかったのか。また、この畑作で特に被害というものはなかったのか、そこら辺を教えてくださいたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

災害の面積につきましては、約5ヘクタールということで回答させていただきましたが、一昨年ですか、令和5年も同じような渇水被害がございまして、そのときと同じように、やはり能生の東側、能生川より上越寄りといいますか、そちらの中山間地のほうが特に被害が目立つ状況となっております。

また、畑作につきましては、個々の、個人でやってる畑については詳しい状況は分かりませんが、園芸、大きな園芸でやってる農家さんにお聞きしますところ、畑につきましては今のところ大きな影響がなかったというふうに聞いております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

そうですね、個人の畑ですと、なかなかこう、もう水やるのはやめたみたいな感じで、被害状況ってのは分かんないかと思います。

先ほどおっしゃってた園芸については、あまりなかったというようなことは理解をいたしました。一応、何かこの渇水、1番の稲作に関しては、何か相談があって、何か解決したというようなことはありましたでしょうか。令和5年と同じような箇所だというようなことなんですけども、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

7月の降雨というのは、例年の1%から2%という降雨量でございましたので、既に梅雨明け後ぐらいから、農家の皆様からは、やはりかなり水が厳しい、ため池の水が減ってきているというようなご相談はいただいております。それで、用水のほうも番水ということで、当番を決めて水をかける時間といいますか、制限するような形でやっているというご相談をいただいております。

そうした中で、市といたしましても令和5年のとき同様にポンプですとかホース、いわゆるかんがい用水を確保するための資機材の購入、リース代の費用の補助ということを実施いたしまして、農家の皆さんからは、そうした制度についてご利用いただいているというような状況になっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

収穫量というのは、まだ分からないかとは思いますが、品質はよいというような報道も聞いておりますけれども、現状をどのように分析をしておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

農林水産省のほうでは、8月末に公表いたしました8月15日付の作柄の状況ですけども、10アール当たりの収量というのは、新潟県は前年並みというふうに農林水産省のほうで判断しているようです。

それと、9月の4日の日に糸魚川管内でも、今年取れました早生品種のお米の検査がございましたが、今のところ100%、主食米については100%一級米だという結果が出ておりますので、これから晩成品種のほうが出てまいりますので、ちょっと具体的なこととしては、これからの検査に委ねなきゃならん部分が多いかと思っておりますけども、少しでも一等米比率が高くなることを期待したいというふうには考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

今のところ、前年並みというようなことで、一安心というわけじゃないんですけども、順調であるというふうには理解をいたしました。

（2）でございます。かんがい用水用の資機材の購入とか借上げの補助なんですけど、これ4件ということなんですけど、意外と少ないのかなというふうに思ったんですけどね。6月の下旬からまとまった雨が降ってなかったという状況が続いておって、案内がちょっと遅いんじゃないかみたいな、そういった声も聞いたんですけども、そこら辺は、この広報なんかも見ますと、7月の18日からというようなことが書いてあるんですけども、そこら辺は何ていうんすかね、思っていることと、この期間と、この18日というのは、もう1週間ぐらい早かったらよかったのかなとか、そう思ったりもしたんですけど、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

市長答弁のほうで今、申請が4件ということでお答えさせていただきましたが、ご相談のほうは、既に三十数件いただいております。当然、これから申請の手続していただけるものというふうに見ております。

また、周知の時期ということで、7月18日だということだったんですけども、私どもといたしましても、すいません、梅雨明けが実際には6月29日頃だということだったんですけども、最初の気象庁の発表では7月18日でございました。ですので私どもといたしましても、やはり梅雨の期間というのは何らかの雨が降るだろうということを期待して、この7月18日までおったんですが、7月18日に梅雨明け宣言されたことから、これ以降、やはり大きな雨が期待できないということで、その梅雨明けの日をもって、今回、皆様のほうに周知させていただいたというようなことになっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

梅雨明け以降だということは理解をいたしました。

3番目でございます。

先ほど育てている牛等が病気になったというようなことは聞かなかったということでしたけれども、畜舎の中で、この扇風機用というんでしょうか、少し冷やすために扇風機なんか回してるんですけども、やっぱり電気代というのがやっぱりかさむというようなことで、やはりやられてるオーナーさんなんかに聞きますと、救済処置というんでしょうかね、そういったものがないのかなというようなことは相談を受けたんですけど、そこら辺は糸魚川市ではやっておるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

今回、電気代の補助というのは、渇水のためにポンプを回して田んぼに水を当てる、そうした電気代については今回補助しておりますけども、畜産ですとか、園芸のほうの電気代ということになりますと、そちらについては、糸魚川市としては補助のことは検討しておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

他市のことで恐縮なんですけども、上越市では、この畜舎の暑熱対策設備に要する電気代料金、7月、8月、9月、暑熱対策による上昇分の2分の1以内を支援するとありますけれども、こういった事例もありますので、今後、何ていうんでしょうか、だんだん牛だとか、そういった何ですかね、やられてるオーナーさんもだんだん少なくはなってはきておるんですけども、ぜひそういった方にも手を差し伸べていただければと思いますので、今後よろしく願いいたします。

（4）ですけれども、以前に比べまして夏の気温が上昇傾向にありまして、救済策というものを講じながら、担い手を確保するためにも力を入れてもらいたいと思います。農業所得を上げていかないと、この就労の魅力というのはやっぱり伝わっていかないので、今後どのようなことを考えられているか、そこら辺をお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

先週末、農林水産省から発表されたところによりますと、全国で高温耐性品種、いわゆる暑さに強いお米というのが16%ということで、7年前の2.2倍に膨れ上がっていると。新潟県につきましても29%が、既にそうした品種になっているということです。市といたしましても当然、生産者の意向というのは一番大事になるんですけども、生産者の皆さんが、そうした品種転換したいというときに苗の手配ですとか、そういったものがスムーズに行えるよう、関係機関、JAですとか普及センターと、前へ進めていきたいというふうに考えておりますし、やはり暑さに耐える農業ということになりますと、やはり機械化ということになってくると思います。やはり機械化といいますと、やはり大区画圃場、一昔前は3反歩の圃場整備が通常でしたけども、今は1町歩超える圃場整備というのは、全国でも当たり前のように行われておりますので、市のほうでも圃場整備の推進、基盤整備の推進というのは国へも要望を上げておりますので、引き続きそちらの整備につきまして、国・県のほうに要望を上げていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ぜひお願いいたします。

（5）番でございます。中山間地におけるため池等でございますけれども、先ほど市長答弁にもありましたように、農業者に寄り添うというようなことであったというふうには理解はしておるんですけども、今後ちょっと雨が降らないで、高温傾向が続くと思います。やはり水を確保するためにも、地域に寄り添った政策を打ち立ててほしいと思います。品種改良が進み、暑さに強いものが出てくるかもしれませんが、最低限の水は必要だと思います。天候に左右されやすいし、毎年リスクを減らしていけるようお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、2番の（仮称）駅北子育て支援複合施設計画についてであります。

市は、昨年度、実施した旧東北電力ビルの解体工事の入札不調が、昨年7月から今年1月まで5回連続して続き、本年度、新たに近隣の旧宮田ビルも併せて解体する工事計画に変更して、入札を実施しましたけれども、通算で6度目の入札が成立しない事態となったことについて、どのように捉えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

議員おっしゃるとおり、昨年の7月からこの7月まで6回入札のほうをしておりますけれども、解体事業者のほうは決まっております。当初これまで5回、昨年5回やってきた中においても所在地の要件とかは、市内の本支店といったところの条件を緩和したりとかという形で、都度都度、設計内容等も見直しをしたりということで取り組んできておりますが、今回も入札事業者の決

定に至らなかったというところでございます。今現在、先ほどの市長答弁ありますように、今後の対応について庁内で協議をしているところでございますので、また対応が決まりましたら事業のほうを進めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

2棟のビルなんですけども、このどういう目的を持って取得されたものなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

旧東北電力ビルにつきましては、令和2年の12月に売買契約というような形で取得をしておりますし、宮田ビルにつきましては、寄附採納といった形で同時期に取得をしております。当初はこども課、この事業計画の部分というところでは一体的に計画していたものではございませんけれども、旧東北電力ビルの部分につきましては当初、屋内遊戯場の広さをいろいろ勘案していく中において、当初、本当に小さい面積の旧井上商会さんの部分だけで設計等も考えていたんですが、やはりそこでは面積が小さいといったところもございまして、途中、旧東北電力ビルのほうまで事業用地を広げて進めていこうというところで計画はされてきたというところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

この建物というんでしょうかね、これらの建物は、1回でも利用されたことはあったんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

議員のおっしゃる利用というのが、市が取得した後に何か別の利用でということであれば、特に

別の形態で利用したということはないというふうに認識しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

そうですね、1回も利用されることがないということなんですね。令和3年のときの第3回定例会での一般質問の中で、田原洋子議員より、建物を活用できなかった場合、解体費用は幾らかかりますかとの問いに、市長答弁では、平成30年1月に物件調査した結果では、2棟で約7,500万円でありましたと答弁しております。

今回、解体費の全体予算額に2億5,000万円を計上しており、今回で決まるのかなというふうに思っていたんですけども、ちょっと予想外の展開となってしまったと。これに対してどう思われるかということなんですけど、そこら辺いかがでしょうか。一応計算しますと3.3倍を超えていると。もう7年はたっちはおるんですけども、かなり高額になっているんだなというふうに思いますが、そこら辺いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今回、これまで当初見ていました、想定しておりました金額よりもかなり上がってきているというところは確かなところでございます。この間、物価の高騰ですとか人件費の高騰、様々な要因があったというふうに捉えておりますけれども、何が特定の原因かというところはなかなか難しいところではございますが、市としては引き続き、ビルの解体につきましては市民要望が高いという認識でおりますので、取壊しができるように進めてまいりたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

この物件は、復興のまちづくり計画の中でにぎわいの拠点施設という候補のエリアにあった物件で、まちづくり計画にも位置づけた、今後の駅北の活性化につながるには、資する場所であろうといったことを総合的に判断したと、当時、部長の答弁がございました。耐震調査は実施はしていませんし、5万4,000円で買ったということなんです。旧東北電力ビルに関してはですね、東北電力が実施した不動産鑑定評価額、その中で更地にしたときの価格から建物の取壊し費用等を差し引いた金額で購入されたという、それが5万4,000円だったということで聞いております。今さら過去をひも解いても致し方ありませんけれども、大変悩ましいこととなっておるということでございます。

(2)でございます。予定価格の積算根拠は適正ということで、これはよくやられていることということなんですけども、これ自体のこの制度というんでしょうか、何ていうんですか、昨年度、5回実施する中で不調という形で終わって、庁舎内部でも検討して、新年度に入って事業者さんから参考見積り等を徴収したとあって、これ、一応根拠に出されたということなんですけども。この制度というんでしょうかね、それが本当に正しいものなのかどうかという、今度ちょっとそっちのほうへ行ってしまうんですけど、そこら辺のその算定の仕方というのがちょっと甘かったのか、そこら辺はどう捉えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

昨日の質問にもお答えさせていただいたんですけども、今回、6回目の部分については、性能発注方式ということで、事業者の方から提案をしていただくといったことで見積りを頂いております。

また、解体の工事自体、歩掛りというものが特にない工事になりますので、やはり専門業者の皆さんから見ていただいたものによって提案していただいたもの、それについては、私どもが見るよりは正しいものというふうに考えております。それをベースにですね、予算等も要求をさせていただいて、6回目の入札に臨んだということなんですけども、残念ながら不調に終わったという事態でございます。仕様の内容ですとか、見積りを出したときの内容、それを今、精査をしておりますので、そういったところを見直ししながら、今後どうするかを検討しているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

現在の相場の価格ではないとすると、何なんだろうなって、単純というか純粹にそう思うんですけども、そこら辺はどう考えておりますでしょうか。今後また、先ほどたしか松田議員のときもお答えあったかと思うんですけど、今後この価格の変更とか、金額の上積みがあるのかということなんですけども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

価格については、見積りを頂いてますので、昨今の実勢の価格ということをつまえているものというふうにして、私ども入札をかけさせていただいております。

先ほども言いましたけども、私どもの見積りの仕様の内容ですとか、そういったところに行き違いがないのか、そういったところも見直す中で、次の入札、どういう形で臨むかというところは今検討しているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

検討はよろしいんですけども、7回目の入札でこの事業者が決まるという保証はあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

なかなか確実に落ちるかどうか保証があるかという、なかなかお答えできませんけれども、しっかりと事業者が決まるようには検討を進めてまいりたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

とにかく検討していただければということに尽きるのかなと思います。

今後の事業者の範囲を広げるかという、3番目の問いでございますけれども、先ほど全国に広げているんだというようなことで理解はいたしました。あらゆる可能性を検討してもらう以外に方策はないのかというふうに思います。

4番目ですね、令和11年の4月までにこの施設整備を完了させるためには、今年の12月までに広場の整備概要を決定したいというのは理解はしますけれども、先月の29日のヒスイ王国館での市長との懇談会や、これから10月以降に13地区で同様に懇談会が行われる予定ですが、この29日の懇談会はどのように受け止めたかということなのですが、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

8月29日、ヒスイ王国館で開催されました説明会につきましては、70名ほどの方ご参加いただきまして、様々なご意見いただいたというふうに思っております。そもそも今回、施設整備、建物の建設を今広場、汎用的な広場という形に変えてというところでご説明、ご提案をさせていただいておりますが、そもそもその計画自体が全てなくなったというふうに思っていらっしゃってご発言をされている方も中にはいらっしゃったのかなというふうに思っておりまして、私どもこども課のほうといたしましては、これまで市長、替わられてからですね、議会のほうにも施設整備の方針4点について、議会、特別委員会等でもご説明させていただきましたし、7月にも広報いといがわ

のほうにも掲載をさせていただいて、市民周知を図っているところでもありますけれども、なかなかそういうところが、まだ期間も浅いということもあって浸透してないかなというところも感じたところでございます。

ただ、皆様方の懇談会でいただいたご意見といたしましては、やはりあその場所を何とか建物の解体も含めて、早急にしてもらいたいし、何とかにぎわいのあるいいものを造ってもらいたいというようなご意見だったかなというふうな捉えではございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ご意見として、この道の駅であるとか、近距離にトイレであるとか、水遊び場があるというようなことは、ごもっともな話かなというふうには思います。ほかに美山公園にあるわんぱく広場のことを指して言ってるんだろうとは思いますが、そちらのほうをもっと手当てしたらというような声については、どのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほどの答弁と若干かぶる部分あるかもしれませんが、確かにそういった美山公園の整備といったところも、一方でしっかりと考えていかなければいけないというところはあるかと思っておりますが、今回の当該計画地での事業につきましては、駅北大火からの復興ということで、これまで計画を進めてきたといったところでございます。市のほうでは、その大きな方向性を変えない中で、今、建物建設といったところを汎用性のある広場という形で変えさせていただいておりますので、今ご提案の形で事業のほうは進めさせていただければというところで考えているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

そうすると、市民の皆さんからご意見を聞いて進めるとは言っても、何か口先だけで、何かあんまり変更するつもりはないのかななんて思ったりもするんですけど、そこら辺はそんなことはないんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

また先ほどの答弁とちょっとかぶるんですが、これまで、大火からの復興という計画の中で、国の補助等も頂くという中で計画を進めてきている部分がございます。変えていける部分と変えれない部分といったところがあるかと思っておりますので、今ご提案をしておりますのは、市のほうで国の補助等も含めて、もともとの計画を大きく変えない範囲で修正をさせていただいてご提案をさせていただいているというふうに理解をしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

関連はするんですけどこの屋内遊戯場を、市内の既存施設の活用を検討しているということだというふうに理解はしておるんですけども、そういう意味であれば、ある程度この既存施設を活用するというので、屋内遊戯場という部分では目的は達成されていくのかなと思います。

何度も同じことを言うんですけども、令和6年度の統計要覧、糸魚川市の統計要覧には、平成26年のときは人口が4万5,984人、出生数が286人、婚姻数が150組でした。令和5年になると3万9,057人、出生数が130人、婚姻件数が83組。令和7年の9月、今月の人口は3万7,293人です。補助金に縛られてしまうと、子供の自発的で自由な発想で遊べる広場を整備し、利活用していくしかないと思うんですね。自由に発想の転換ができないのではないかなというふうに思うんですけど、そこら辺どうなのでしょう、やっぱり補助金に頼ってしまうと、どうしてもそれしか、それ重複しますけど、子供の汎用性のある広場しかできないということになってしまうので、どうもそれで何となくちょっと、もう一工夫みたいなものが欲しいような気がするんですけど、そこら辺は改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

国の補助というものを今前提として事業のほうを進めさせていただいている部分はございます。

ただ、その目的というところに関しましては、これまで市内で不足していた子育て世代の要望を実現するといったところも、併せて兼ね備えているものというふうに思っております、そういった国の補助等の有効な財源を活用しながら、市の行政課題として進めさせていただいているというふうに理解しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4 番（渡辺栄一君）

汎用性のある広場を造った場合、何年間、広場にしておかなければならないものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

すいません、ちょっと正確なところはお答えできませんけれども、国の補助金を活用するという
中では、当面、その部分の利用はそのままという形になるかと思っております。改めて、例えば
近々にそういった用途変更等する場合には、やはり国のほうに補助金返還の協議というのをしな
ければならないというふうになると思っております。年数につきましては、ちょっと申し訳ござい
ません、できるものとかによっても違ってくるかと思っておりますので、この場ではお答えできま
せん。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4 番（渡辺栄一君）

このまま何か入札もうまくいかなかったり、この利活用案が実施できなかった場合、仮の場合、
もしの場合ですね、この補助金等の返還、先ほどおっしゃってた、この補助金等の返還額の見込み
というのは幾らぐらいになるものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

金曜日の利根川議員のご質問でもちょっとお答えしておりますけれども、返還という意味では、
今の汎用性のある広場、それも含めて事業を全てやらなかったというところになるかなというふう
に思っておりますが、現時点で、令和6年度末までに国庫補助金として確定済みで、4,700万
円ほどになっておりますので、そちらの分については返還しなければいけないというふうに思
っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4 番（渡辺栄一君）

4億とか5億だったら大変だななんて思ったんですが、4,700万ぐらいなら、何とかやれな
いもんなのかなと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

その金額を返す返さないというだけの話ではなく、やはり先ほど来申し上げておりますように、これ大火からの復興ということで、これまで計画をしてきた部分のその中にあるというふうに思っておりますので、なかなか簡単にそういった変更というのは難しいのではないかなというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○４番（渡辺栄一君）

あくまでもこれは、私の今の個人的な意見ですけれども、あまりこれに、広場にこだわる必要はないんじゃないかなというふうに思います。というのは、やっぱり時代とともに要望といいますか、そういったものが変わってきますので、それに縛られてしまうと、あの場所、私に言わせるとかなり一等地だろうというふうに思うんです。あそこはやはり働く場所、やっぱりビジネスマンが集まって、そうしないとこのまちはよくならないってわけじゃないんですけど、やはり人が来るということになれば、やっぱり働く場所があそこでは必要じゃないかなというふうに思いますので、４，７００万ぐらいであれば、どうでしょうね、行政サービスを削るわけにはいかないとは思いますが、少し乱暴な言い方かもしれませんが、人件費を削っていけるんじゃないか、ぐらいな程度に思うんですね。

昨年の１０月２５日の糸魚川市のおしらせばんですけれども、ここに市の人件費のことが書いてございます。歳出額が２６８億とあるんですけども、人件費が４３億４，３５５万円とありますので、そこから何か捻出できないもんかななんて単純に思ったりもしたんですけども、少し乱暴かもしれませんが、何かこう、それであればほかで稼ぐとか、工夫すれば、何とか４，０００万台ぐらいであれば、何とかなるんじゃないかななんて、非常に単純に思った次第なんですけども、改めてそこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

４，７００万円という金額が捻出できるかどうかという問題ではないというふうに思っております。先ほど申し上げましたように、渡辺議員おっしゃるようになりますね、今、角地の一番いい場所をどういう形で使うかというところを今後、利活用を多様にできるといったところを踏まえて、久保田市長のほうで汎用性のある広場という形で今ご提案をさせていただいているというふうに思っ

ておりますので、行政としてできる機能をあそこに、そのような形で設置させていただいて、また商店街は商店街でできる力を発揮していただいて、それぞれ複数分散型ということで、まちのにぎわいを盛り上げていければというところで考えているものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ちょっと話が平行になりましたので、これに関してはここでやめておきます。

6番目でございます。協議・清算というのは行って、応じている最中だということで、いずれと
いいますか今後、議会報告をされるというような答弁でございました。相手のあることでございま
すので、12月議会までには公表できるようにお願いしたいと思えます。

子育て支援というのは必要と考えておりますけれども、必ずしも何かものを作るものではないと
いうふうに思っております。個人的には、教育の質を高めていってもらいたいというふうに思っ
ております。

子育てに関しては、以上、これでやめたいと思えます。

あと、当市の諸課題についてであります。

先ほど市長答弁で登山道の整備はということなんですけども、地元の方であるとか有志の方が整
備を行っているというような、そういった回答であったというふうに理解はしております。

昨年、テレビ放映で「にっぽん百低山」という番組で、戸倉山・新潟というような番組があった
というふうに聞いております。この番組を見た登山者が、全国から訪れているということで、戸倉
山の人気がすごいというふうに聞いております。

戸倉山へ行くには、しろ池に向かわないと行けませんけれども、池の手間に色あせた案内板と、
何か大きな木の板がですね、昔は何かトンボだったとか、希少動物か何かが描いてたらしいんです
が、今は何もなく、そのまんまになっているというようなことと、あとミズバショウがある遊歩
道があるらしいんですけども、そこがかなり荒れているというようなことを聞きましたけれども、
そういったことはご存じでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

戸倉山に向かう登山道と申しますか遊歩道になりますか、今、議員ご指摘の2つの部分につい
ては、私どものほうで現状把握はできておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ぜひこれからまた、行楽シーズンってわけじゃないですけど、秋のそういった登山の、そういっ

た時期でもございますので、ぜひ見ていただきたいなということですし、あそこにノートも置いてあるんですけども、ノートもですね、今年の8月まで、もう書く欄がないんですね。なので、そういったノートもぜひ新しく置いていただいて、なかなかよかったとか、いい、そんなに、評価されてる内容のことが書いてありましたので、そこをですね、ぜひちょっとノートだけなんですけど、ノートもそうですしね、あと登山口もちょっと分かりにくいというんでしょうかね、その矢印が非常に分かりにくかったというふうに思いますので、そこら辺もぜひ直していただけるのであれば、検討していただきたいと。

それと、私、今年7月に焼山登ったんですけども、山頂まではちょっと登れなかったんですけども、そこに大谷とか地獄谷というような箇所があるんですけども、やはり近年の集中豪雨等でですね、何か崩落してるらしくて、いろいろお願いはしてるんだけどなかなか直してくれないというような、そういった声も聞きましたので、そういったところが市の工事というんでしょうかね、崩壊防止工事というのができるのかどうか分かりませんが、そういった要請もございましたので、ぜひそこら辺も検討していただきたいというふうに思います。

それと、(2)のところで、市内のアンダーパスの箇所ですけども、26か所あるということなんですけども、今まで水没の事故等の報告というのはございますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

アンダーパスの水没事故ということなんですけども、今年、昨年度はなかったんですけども、令和5年度の10月の豪雨でちょっとかなり雨が降りまして、そのとき、糸魚川地域と青海地域で1件ずつ、合計2件、被害の報告を受けております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

近年、短時間で雨量が大きい傾向となっております。先週も上越市内でアンダーパスでの車の水没というのがございました。ご本人の不注意等もあろうかとは思いますが、保坂議員もエアー遮断機の導入を昨年、第1回の定例会にも上げておるんですけども、そういったことは今後、導入というんでしょうか、考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えします。

以前にエアー遮断機、提案もいただいたことは承知しております。

ただ、今いろいろと精査させていただきまして、まずやっぱり迅速に現場に出向くということが

重要かと思います。それで、私どもですね、昨年度、冠水の頻度が高い箇所につきまして、冠水センサーということで、要は規定値になれば、メールが流れてくるということで、迅速な対応ができるということで導入させていただきましたので、今後も気象条件を先を読みながら、そういったものを駆使して、早急な対応に努めて、水没が今後起きないように臨みたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

実験なんかでは、水深が60センチまで冠水した道路を走ると、31メートル地点で車が停止するということです。事前にそういった遮断機、遮断する装置があれば、あることで安全が保てるというふうに思いますので、今後、検討をお願いしたいと思います。

以上で私の一般質問を終了いたします。ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員の一般質問が終了いたしました。

暫時休憩といたします。

再開を2時40分といたします。

〈午後2時22分 休憩〉

〈午後2時39分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、加藤康太郎議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

加藤議員。〔3番 加藤康太郎君登壇〕

○3番（加藤康太郎君）

思い、志による創造的関係性を築き、共につくる共創参画社会を目指す、会派、志の縁、志縁の加藤康太郎です。

発言通告書に基づき、一般質問をさせていただきます。

1、時代の要請に対応した持続可能な次期「糸魚川市定員管理計画」について。

当市は、合併直後の平成17年度の「地方公共団体定員管理調査」において、普通会計職員ベースで、職員数が84人超過という状況にあり、「糸魚川市定員適正化計画」を策定し、合併10年後の平成27年度当初の職員数を577人と定め、職員の削減を進めた結果、平成23年度当初の職員数は、573人となり、4年前倒しで目標を達成し、平成24年3月に新たな定員適正化計画を策定し、定員の『抑制』を主要課題として推進してきました。

現在は、必要に応じた適正な職員数を確保した上で、効率的で質の高い行政サービスを実現し、